

旧約神学シラバス

目 的

旧約聖書に主張されている神学を学びます。

方 法

組織神学的な前提を絶対視せずに、できるだけ旧約テキストが提示している神学を検討したいと考えています。各書の中で重要と思われる神学的課題を拾い上げて検討していきます。

旧約各書あるいはテキストのグループを各々扱っていきますが、ヘブル語聖書（マソラ本文）の順序に従うこととします。

テキスト

E.マーティンズ「神のデザイン 旧約神学の試み」（大阪：福音聖書神学校出版局 2015）

評 価

I テキスト・レポート 指定されたテキストの箇所をまとめて、ご自分の意見を記して下さい。

A4 2枚まで

「神のデザイン」

第1回	補遺
第2回	3章
第3回	4章
第4回	5章
第5回	6遺

II. レポート

提出されたレポートによって評価を行うこととし、テストは行ないません。レポートは2回の提出を求めます。

以下の課題の各グループ A, B から1題を選び、指定された期日に提出してください。手渡しでも、郵送でも、E-mail（添付）でも結構です。

A.

以下の課題について1題を選び、ご自分の意見をまとめて下さい。

1. どのように聖書神学は、教会現場（宣教）に対する貢献できるでしょうか？
2. 創造神学と救済神学との関係は、どのように理解されるでしょうか？

3. シナイ契約と律法規定とは、どのような関係でしょうか？
4. 旧約聖書において、土地はどのような意義を持っているのでしょうか？

B. 提出期日

以下の課題について 1 題を選び、ご自分の意見をまとめて下さい。

1. 預言者が示す社会正義をどのように理解できるでしょうか？
2. 知恵文学に見られる世界観の多様性をどのように理解すべきでしょうか？
3. イスラエル民族主義は、律法理解の変化にどのような影響を与えたでしょうか？
4. 預言書が示すメシア思想は、どのような影響をもたらしたでしょうか？

★各レポートA 4, 5 枚以内でお願いします。

★各課題の扱う範囲は広いですから、一般的な課題として検討して下さっても結構ですし、その課題に関わる具体的な問題（聖書箇所、教会現場での出来事、あるいはご自分の問題意識など）を取り上げて下さっても結構です。

★評価について

減点法で行います。評価基準は、①論理的に論述されているかどうか ②内容に見合った構成であるかどうか ③自らの意見として提示できているかどうか この3点を中心とします。

学生の方々の意見をまとめることが課題レポートの趣旨になっています。従って、内容そのものへの意見を応答として講師が述べることはあると思いますが、内容について講師と意見が違っているからと言って減点にはなりません。逆に講師と同じ意見であっても、以上の評価に照らして減点することがあります。論述された内容をご自分のものとして理解し、それをレポートできているかどうか、この2点が重要だと考えています。

南野 浩則

586-0032

大阪府池田市石橋 2-17-10-B

福音聖書神学校

Phone072-761-1397

Fax 072-761-8200

E-mail mhnanno@gmail.com